SMARTで学習目標を決める

共通の学習例

金曜日までに百分率の問題を五問自力で解き、解答例と比べて確かめる。

SMARTで学習目標を決める

S - 具体的

何をするか

割合の問題を解く

M - 測定可能

どう確かめるか

五問を自力で解き解答例と照合

A - 実行可能

使えるものは何か

三回の学習、分かる例、質問への支援

R - 関連性

なぜ大切か

この形式を一人で解けるようにする

T - 期限

いつ確認するか

金曜の最後の学習後

金曜日に結果を確かめる

自力で解いた五問の解答を残し、解答例と比べる。

誤りと、まだヒントが必要な手順を分けて記録する。

資源が足りなければ、理由を書いて範囲や方法を変える。期限は確認点で、成功の保証ではない。

出典

CDC - SMART Framework - https://www.cdc.gov/youth-advisory-councils/action-plans/smart-framework.html

NYU - SMART Goals and variants - https://wp.nyu.edu/coaching/tools/smart-goals/